上智大学の国際ボランティアサークル「Givers」がエルサルバドルで行う企画

私はエルサルバドル出身の父親と日本出身の母親の間に生まれました。このおかげで、とても異なる二つの文化と世界に触れることができました。エルサルバドルの家族に会いに行く度に、エルサルバドル人が生きる貧困問題と社会問題を年を重ねるにつれて深く感じることができました。日本とエルサルバドルを比べた結果、「なんで地域が変わるだけでこんなに不平等な生活をしないといけない人がいるんだろう」と思わされました。その不平等さをみて小さい頃からいつもやりたかったことは、私が恵まれて生まれた環境を使って何かしらエルサルバドルの貧困の子どもを支援したいことでした。やっと大学に入ってサークルが作れる環境に巡り会えたため、その機会を使って今回 Givers を創設しました。創立した時は、エルサルバドルに行くことしか考えていなかったです。毎年エルサルバドルのために準備してそれに向かって頑張っていくことが目的だったのですが、日本でもさまざまな問題があることを学び、今では日本での活動の方が多くなりました。

Givers は 2022 年度秋学期に新規創設した団体で、エルサルバドルでのボランティアやビーチクリーン、動物たちに新しい飼い主を探したり、散歩の手伝いをしたりするボランティア活動を行っています。
Givers のメインゴールは毎年 3 月にエルサルバドルに行き、貧困状態の人々をより多く助けることです。そのほかのゴールはボランティアの楽しさをメンバーにわかってもらえることと、違う国の人と触れ合うことで、視野を広げてさらにグローバルになることを目指しています。

Givers は 2023 年 3 月に、エルサルバドルプロジェクトという活動を行いました。エルサルバドルプロジェクトの目的は、過酷な貧困状態で暮らしている子どもたちに希望を与え、必要なツールや機会を提供することによって、子ども達の将来を良くしていくことです。こちらの企画はこれから毎年行って行く予定で、2023 年はエルサルバドルプロジェクトの初回として行いました。今年は合計 150 人以上の子ども達と高校生を手伝うことができました。アパネカとラ・リベルタドと言う地区でボランティアを行い、アパネカの 2 つの小学校と 1 つの高校を 2 週間訪ね教育面で支援をし、ラ・リベルタドでは Hope House という NPO とコラボレーションをして貧困の子ども達を手伝いました。小学生にはダンス、空手、日本文化、そして英語を二週間集中的に教え、高校生には、オンラインビジネスの起業の仕方を教

え、そのビジネスで売れそうなラーメンのレシピを教えました。現地調査として、子ども達全員にインタビューも行い、より深く現地の方々が必要としているものを調べました。

すでに 2024 年のエルサルバドルプロジェクトを企画しており、来年は日本から最大 8 人のメンバーと一緒に行き、英語、Excel の使用法、動画編集の仕方のほかに、舞踊、空手、金継ぎなど様々な日本の伝統文化を教えます。特にエルサルバドルの子ども達に伝えたいのは各文化の教えです。日本文化の教えを通して子ども達だけでなく、大人も支援を受けた時に、どのようにすれば一番みんなのために使えるかを教えます。
このほかに、インターネットルーターがない学校とコミュニティーにインターネットを設置し、私たちが日本に帰っても教育が続けられるためにオンライン授業ができるような環境を作ります。

また、未成年妊娠をしてしまった少女の経済面を少しでも援助するために、日本の生理用品会社とコラボレーションをして、無料で少女たちに提供する予定です。月経カップを渡すことで、少女たちは使い捨ての生理用品を購入するために使用していたお金を貯金でき、その金額を赤ん坊のミルクやオムツに使えると思いました。

さらに専門的なビットコイン教育を子どもだけでなく、大人にも提供します。2021 年からエルサルバドルでビットコインが法定通貨として認定されたものの、多くのエルサルバドル人がビットコインが何かすら知らない現状下で、大きな価値を持つと考えています。専門的な教育は、アメリカの学生が創立した有名なビットコインの団体、「Generation Bitcoin（GenBit）」とコラボレーションを行い、GenBit のメンバーに実際に現地に来ていただいて行う予定です。また、動画編集のスキルを教えることによって子ども達に雇用の機会を与えることが可能になります。日常生活を記録したブログなどの動画作成を依頼し、Giver にそのデータを共有してもらい、ビットコインで支払いをすることで教育面だけでなく、経済面でも支援していきたいと考えています。私たちは生徒の学校生活しか知らないため、送られてくる映像は家庭内環境等を知ることを目的にして Givers メンバーの情報共有のために使用する予定です。また、SNS に投稿する許可を得た映像については、ブログを Givers の SNS に載せてビットコインで直接家族に募金が届く制度を作ります。また、いますぐに金銭面の支援を行うために、エルサルバドルでは米ドルとビットコインが法定通貨のため、アメリカ

のビットコインを専門としている学生とコラボレーションをして、大人と子ども達にビットコインの教育をし、仕事をつくって、ビットコインで給料を得られるようにすることも考えています。

エルサルバドルは表現できないほど綺麗な自然と絶景の持ち主です。また、エルサルバドル人は心から優しい人が多く、すごく温かい気持ちになります。エルサルバドル人を支援するだけでなく、日本に住んでいる Givers のメンバーの人生に大きく響く経験を与えることも一つの目的です。日本とは全く異なる文化、環境、人間性、そして社会問題を実際に見て、肌で感じることで、これからの人生の行動が変わっていくと思います。大学生活中にこのような経験をすることで、将来には社会貢献の活動やソーシャルビジネスを始める人が増え、エルサルバドルだけでなく、世界中の社会問題を解決していけると深く信じています。

私たちの活動にご賛同いただける方は是非ご連絡をお待ちしています。
sophiauniversitygivers@gmail.com

アンチェタ練木理沙子（ねりき　りさこ）マリア氏
生年月日：07/19/2002
メキシコで生まれ育ち、19 歳で日本の上智大学へ進学のため、日本に移住。メキシコでは芸術家の親の影響でプロのクラシックバレエダンサーになるために 10 年以上鍛錬していたが怪我などの影響で断念。上智大学入学後は、国際色豊かな環境で生まれたことを活かして、様々なプロジェクトを企画。現在日本に 2 年間在住し、国際教養学部で勉学に励んでいる。年に一回、メキシコとエルサルバドルに帰省。エルサルバドルではエルサルバドル人への支援プロジェクトを実施。将来的には日本で数年間就職した後に、世界で活躍できるような仕事に就き、最終的にはエルサルバドルに移住することを考えている。